

鯉川村密着地域紙

さめがわ豆新聞

Samegawa Mame Shimbun

第483号

 2025年(令和7年)
3月31日 月曜日

【発行元】さめがわ豆新聞社
 【発行所】鯉川村大字赤坂中野字薄ヶ久保9
 【電話・FAX】0247-57-5017
 毎週月・木曜日発行 月額1,200円
 (年末年始、GW、お盆、祝祭日は休刊)

経産牛活用 商品開発へ

村とリファインHDが協定

繁殖牛として子どもを産んだ母牛、いわゆる経産牛を活用した商品開発に向け、村は25日、東京都千代田区のリファインホールディングスと連携協定を結んだ。ブランド化も視野に調査研究を進めていく。

繁殖牛は年に1頭の子牛を出産し、10年ほどで役目を終える。通常の食肉用の若い牛と比べ、食肉としては肉

が硬く、脂が黄色いなど敬遠され、ペットフードなどに加工されるか廃棄されることが多かった。

畜産業の中でも村内はほとんどが繁殖農家。そこで、これまで活用されてこなかった未利用資源の経産牛に着目し、調査研究を進

めることを決めた。さらに、エサにおいても村のおからやエゴマ油の搾りかすなど、村から出る未利用資源を活用して開発を進



協定を交わす村長と川瀬社長

め、経産牛ならではの硬い肉の改良を研究していく。

締結式には宗田雅之村長、リファインホールディングスの川瀬泰人社長、アドバイザーとして県南農林事務所の會田充茂所長が出席した。

宗田村長は「お力添えをいただき、新たな畜産業振興を図ってきたい」とあいさつした。